



広尾の季節【夏】～サンタの丘 花畑（7月23日撮影）



ひろお

議会だより

No.174

2015年9月1日発行

町民みんなの力で
成功させよう！



10月4日（日）開催

【平成27年第2回定例会】

漁村ホームステイを受け入れ 補正予算

追跡！どうなった？あの質問

一般質問（6人が登壇）

／夜間救急医療／高校存続／空き家対策

総務常任委員会 豊似小・中学校の今後の方向性は

2

7

8

14

○発行・編集／ 広尾町議会・議会広報特別委員会 E-mail g-gikai@town.hiroo.lg.jp

〒089-2692 北海道広尾郡広尾町西4条7丁目 TEL 01558-2-0180（議会直通） FAX 01558-2-2114

**補正
予算**

**漁村ホームステイを
受け入れ**

東京都の小学生が漁師の仕事を体験



昆布切り作業を体験（音調津・上野雅彦さん宅）

平成27年第2回定例会は、6月8日（月）から10日（水）までの3日間の会期で開かれました。条例の一部改正、平成27年度補正予算、財産の取得などが提案され、本会議・委員会での活発な審議の結果、全議案を原案のとおり可決しました。

※議案審議結果は4ページに掲載

**漁村ホームステイ事業
403万円**

農山漁村に都市部の子どものちが宿泊・交流して自然を体験すること、地域の活性化等を図る国のモデル事業に採択され、実施するものです。

事業は7月22〜23日に行われ、東京都江戸川区立平井小学校の児童42人が町内の漁業者宅10軒に分かれてホームステイしました。1泊2日の滞在でしたが、子どもたちは昆布切りなど漁師の仕事体験や川遊びを楽しむなど、広尾の自然を満喫。普段の生活ではあまり体験できないことに大喜びの様子でした。

〈介護保険料の見直し〉

保険料年額（第1段階）
2万6400円
↓ **2400円減**
2万4000円

対象となる方は

| | |
|------------------|----------------------------|
| 住民税 非課税 世帯 | ・老齢福祉年金受給者 |
| | ・生活保護受給者 |
| | ・課税年金収入と合計所得金額の合計が80万円以下の方 |

8%に増税となった消費税を財源として、低所得者（第1段階）の保険料が軽減されます。（4月1日から適用）

介護保険

低所得者の保険料を軽減
年間24000円の負担減

起業家支援

補助金を増額
800万円

新たに事業を行う方などを支援する補助金の申請件数が多く見込まれるため、予算を増額しました。（200万円×4件）

水面貯木場を整備

1871万円

十勝港に整備した水面貯木場に流出防止設備として方塊ブロックを設置し、補強を図ります。

国保 保険料

賦課限度額を引き上げ 低所得世帯は軽減拡大

国民健康保険税（保険料）[※]賦課限度額を引き上げ、所得が低い世帯への保険料軽減制度の基準額を拡大します。

（4月1日から適用）



130万円
-50万円

今回の改正で・・・

町全体の保険料は
80万円

内訳
限度額引き上げ
低所得世帯軽減

※3月31日現在の被保険者についての試算

012年度は同23%。

問 国庫支出金の1984年と直近の割合は、また、平成18年度の賦課限度額はいくらか。

答 1984年の全国の割合は49.8%、2012年度は同23%。

討論

反対

前崎 茂議員

賦課限度額は増額傾向にあり、国庫支出金は逆に減額されている。国負担の増額なく限度額引き上げのみでは、国保財政のひっ迫は解決できないと考え、反対する。

賛成

山谷昭夫議員

国保税を負担できる力のある方に更なる負担を求めるとは心苦しいが、本町の国保財政の現状からやむを得ないものと考え、賛成する。

答 安定的な運営を図るため、国にあらゆる機会を通じ、要望していくべきでは。

問 国に対し、負担割合は62万円。

低所得世帯への保険料軽減拡大

| | 5割軽減の基準額 | 2割軽減の基準額 |
|--------|-------------------|-----------------|
| 26年度まで | 33万円+24万5千円×被保険者数 | 33万円+45万円×被保険者数 |
| 27年度以降 | 33万円+26万円×被保険者数 | 33万円+47万円×被保険者数 |

※今回の改正では、5割・2割軽減の基準額が拡大となりました。

国保保険料賦課限度額引き上げ

| | 基礎課税額 | 後期高齢者支援金分 | 介護納付金分 |
|--------|-------|-----------|--------|
| 平成26年度 | 51万円 | 16万円 | 14万円 |
| 平成27年度 | 52万円 | 17万円 | 16万円 |
| 引き上げ額 | 1万円 | 1万円 | 2万円 |

備品購入

イス・テーブル
を更新
児童福祉会館



更新される児童福祉会館のイス、テーブル

【購入内容】
イス 400脚
テーブル 140台
イス用台車 16台

【価格】
1181万3040円

【契約相手方】
広尾大同印刷株式会社

その他決まったこと

- ◎後期高齢者医療特別会計の事業精算に伴う平成26年度補正予算2件の専決処分を承認しました。
- ◎健康管理システムを1512万円で購入しました。
- ◎マイナンバー制度施行に伴う規定の整備など、町税条例を改正しました。
- ◎法律名の改正による条例の文言修正を行いました。（手数料徴収条例、国民健康保険条例）
- ◎紅葉団地の入居条件のうち、収入上限額を現行の15万8千円から25万9千円に引き上げました。
- ◎十勝港の公有水面埋立てについて意見を求められ、異存がないとしました。
- ◎紋別地区集会所整備事業などに伴う「辺地に係る公共的施設の総合整備計画」（辺地計画）を策定しました。
- ◎事業実施に伴い、「辺地計画」、「過疎地域自立促進市町村計画」を変更しました。

- ◎工事請負契約の締結（3件）

- ①【工事名】広尾中学校屋内運動場建築主体工事
【契約額】4億7196万円
【契約相手方】畑下・濱中経常建設共同企業体
 - ②【工事名】広尾中学校屋内運動場機械設備工事
【契約額】5454万円
【契約相手方】田中・浅岡経常建設共同企業体
 - ③【工事名】広尾中学校屋内運動場電気設備工事
【契約額】5076万円
【契約相手方】北口・三和・広尾経常建設共同企業体
- ◎とちろ広域消防事務組合議会議員の選挙を行い、渡辺富久馬議員、堀田成郎議員を選出しました。



次のページは
「議案賛否、議員出欠状況、意見書、行政報告」



※所得が低い世帯への国民健康保険料軽減制度
世帯の所得が一定の基準以下の場合、1人当たりにかかる「均等割」、1世帯にかかる「平等割」が所得に応じて7割、5割、2割軽減される制度。

平成27年 第2回定例会 議案審議結果

●賛否のあった議案（議案名は一部省略しています）

| 議案名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 議決結果 |
|----------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------------|
| | 北藤 | 志村 | 浜頭 | 前崎 | 佐藤 | 山谷 | 星加 | こだ | おだ | 田中 | 旗手 | 堀田 | 渡辺 | |
| 国民健康保険税条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | × | ○ | - | 可決 (8-4) |

賛成：○ 反対：× 欠：欠席

※渡辺議員は議長のため、採決には加わりません。

●全会一致の議案（議案名は一部省略しています）

| 議案名 | 議決結果 | 議案名 | 議決結果 |
|-------------------------|------|-----------------------------|------|
| 専決処分の承認（補正予算） | 承認 | 平成27年度簡易水道事業特別会計補正予算（第1号） | 可決 |
| 専決処分の承認（補正予算） | 承認 | 平成27年度下水道事業特別会計補正予算（第1号） | 可決 |
| 財産の取得（児童福祉会館イス・テーブル等） | 可決 | 平成27年度国保事業勘定特別会計補正予算（第1号） | 可決 |
| 財産の取得（健康管理システム） | 可決 | 平成27年度介護保険特別会計補正予算（第1号） | 可決 |
| 税条例の一部改正 | 可決 | 平成27年度介護サービス事業特別会計補正予算（第1号） | 可決 |
| 手数料徴収条例の一部改正 | 可決 | 平成27年度国保病院事業会計補正予算（第1号） | 可決 |
| 介護保険条例の一部改正 | 可決 | 平成27年度水道事業会計補正予算（第1号） | 可決 |
| 国民健康保険条例の一部改正 | 可決 | 工事請負契約の締結（広尾中体育館建築主体工事） | 可決 |
| 公営住宅管理条例の一部改正 | 可決 | 工事請負契約の締結（広尾中体育館機械設備工事） | 可決 |
| 公有水面の埋立てに関する意見 | 可決 | 工事請負契約の締結（広尾中体育館電気設備工事） | 可決 |
| 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定 | 可決 | とかち広域消防事務組合議会議員の選挙 | 当選 |
| 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更 | 可決 | 平成27年度北海道最低賃金改正等に関する意見書 | 可決 |
| 過疎地域自立促進市町村計画の変更 | 可決 | 閉会中の委員会継続調査 | 可決 |
| 平成27年度一般会計補正予算（第2号） | 可決 | 議員の派遣 | 可決 |
| 平成27年度港湾管理特別会計補正予算（第1号） | 可決 | | |



村瀬町長からの

行政報告

※内容は要約しています。

**北方圏交流振興会の
決算状況**

サンタメール申込は7
255件、2万2345
通を発送。事業収益は1
43万9005円となつ
た。

※次ページへ続きます。

意見書

最低賃金の 大幅引き上げを

提出者 北藤 利通議員

地域最低賃金はワーキングプア解消のためのセーフティーネットの一つとして重要なものである。平成22年、政府の「雇用戦略対話」において、「最低賃金は景気状況に配慮しつつ、平成32年までに全国平均1000円を指す」との合意があった。最低賃金が上がらなければ、その近傍で働く

くの人の生活は一層厳しくなり、北海道経済の停滞にもつながることから、平成27年度の北海道最低賃金改正にあたり、以下のことを強く要望する。

①最低賃金の大幅引き上げ
②最低賃金額の適切な水準確保
③中小企業に対する支援の充実と実効ある対策の実施を国に要請

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、北海道労働局長、北海道地方最低賃金審議会長



※ワーキングプア
働いて収入を得ているが、収入水準が低く生活していくことが困難である労働者のこと。アルバイト、派遣社員のような非正規社員の急増によりワーキングプアが増加して、社会的問題として注目されている。

議員の会議等出欠状況をお知らせします

(平成27年3月定例会終了後～6月定例会まで)

(1) 定例会・臨時会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退

| 開催日 | 開催会議名・主な内容 | 議員名 | | | | | | | | | | | | |
|-------|------------------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
| | | 議席番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | 北藤 利通 | 志村 國昭 | 浜頭 勝 | 前崎 茂 | 佐藤 春一 | 山谷 照夫 | 星加 廣保 | 小田 英勝 | 小田 雅二 | 田中 巧 | 旗手 恵子 | 堀田 成郎 | 渡辺富久馬 |
| 5/18 | 第1回臨時会(条例改正など) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6/8 | 第2回定例会(条例改正など) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 遅 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6/9 | 第2回定例会(一般質問) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6/10 | 第2回定例会(補正予算採決など) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 開催日数計 | 4日 | 出席日数計 | | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |

(2) 委員会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 -：所属外

| 開催日 | 開催会議名・主な内容 | 議員名 | | | | | | | | | | | | |
|------|--------------------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
| | | 議席番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | 北藤 利通 | 志村 國昭 | 浜頭 勝 | 前崎 茂 | 佐藤 春一 | 山谷 照夫 | 星加 廣保 | 小田 英勝 | 小田 雅二 | 田中 巧 | 旗手 恵子 | 堀田 成郎 | 渡辺富久馬 |
| 5/15 | 第2回議会広報特別委員会 | - | ○ | ○ | ○ | - | ○ | × | - | - | ○ | - | - | ○ |
| 5/20 | 第3回総務常任委員会 | ○ | - | - | ○ | ○ | ○ | - | - | × | - | - | ○ | ○ |
| 5/28 | 第2回産業常任委員会 | - | ○ | ○ | - | - | - | ○ | ○ | - | ○ | ○ | - | × |
| 6/3 | 第4回議会運営委員会 | ○ | - | - | ○ | ○ | - | - | ○ | ○ | - | - | ○ | ○ |
| 6/8 | 予算審査特別委員会(正副委員長互選) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 6/10 | 予算審査特別委員会(補正) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |

※渡辺議員は議長のため、総務・産業・広報の各委員会に所属していませんがオブザーバーとして出席しています。
※予算審査特別委員会は議長を除く議員で構成されています。

(3) 議員協議会・研修・その他

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 -：所属外

| 開催日 | 開催会議名・主な内容 | 議員名 | | | | | | | | | | | | |
|-----|------------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
| | | 議席番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | 北藤 利通 | 志村 國昭 | 浜頭 勝 | 前崎 茂 | 佐藤 春一 | 山谷 照夫 | 星加 廣保 | 小田 英勝 | 小田 雅二 | 田中 巧 | 旗手 恵子 | 堀田 成郎 | 渡辺富久馬 |
| 6/8 | 第1回議員協議会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

**十勝地域における
ドクターヘリ**

十勝は全道唯一の空白地域だが、単独での導入は困難。十勝19市町村長

**地域防災計画の
見直し**

「二時避難場所」から「緊急避難場所」への名称変更、避難場所や避難所の指定の一部見直しなどを行う。

**水産加工排水処理公
社の決算状況**

排水処理量は2万3984m³、事業収益は1万5088円となった。

**地域共生型福祉施設
の建設**

町内の民間事業者が、障害者グループホーム1棟6室の建設を公園通南2丁目9番地に計画。子どもから高齢者までの多世代交流拠点施設の併設も予定。

工事請負契約の締結

①浄水場機械設備工事
契約の相手方―メタウオ―ター株式会社北海道営業所(札幌市)
契約額―3億2940万円

②浄水場電気設備工事
契約の相手方―北海道富士電機株式会社(札幌市)
契約額―1億4256万円

雑紙の資源回収

平成28年4月からの開始を予定。詳細は決定次第、町民へ周知する。

サンタメールは8年ぶりの2万通台回復



平成27年度 補正予算の内訳

| | | | |
|---------------|------------|----------|---------|
| 一般会計② | 101億6829万円 | 3206万円 | 増 |
| 港湾管理特別会計① | 1億4700万円 | 1800万円 | 増 |
| 簡易水道事業特別会計① | 6588万円 | 11万円 | 減 |
| 下水道事業特別会計① | 4億7333万円 | 6万円 | 減 |
| 国保事業勘定特別会計① | 13億884万円 | 416万円 | 減 |
| 介護保険特別会計① | 6億8803万円 | 356万円 | 減 |
| 介護サービス事業特別会計① | 2億6813万円 | 206万円 | 減 |
| 国保病院事業会計① | 収益的支出 | 8億8657万円 | ※増減なし |
| 水道事業会計① | 収益的収入 | 1億6786万円 | 7万円 減 |
| | 収益的支出 | 1億1462万円 | 170万円 減 |

※会計名の後の丸数字は補正回数

(1万円未満切り捨て)

問 何度も予算補正して施設を整備しているが、今後は低気圧等による木材の流出はなくなるのか。

答 前回の低気圧によるブロック崩壊の原因を踏まえて、今回の提案

問 整備に総額どれくらいかかっているのか。十勝港における貯木場整備の必要性は、これまでの総予算額は1億9736万円。

答 飼料コンビナートを中心とした企業誘致など港湾振興を進めていく中で、貯木場整備もその1つとして位置づけている。

水面貯木場の整備

を行った。木材が流出しないようにできるだけの手立てを講じていく。



予算審査特別委員会

委員長 佐藤 春一
副委員長 浜頭 勝

6/8, 10

一般会計ほか8会計の平成27年度補正予算案9件を、6月8日に設置された予算審査特別委員会に付託。同委員会が審査を行い、全補正予算を原案のとおり可決すべきと決定しました。

第1回臨時議会

5/18

子育て世帯や低所得者へ 給付金支給 関連事業費1800万円可決

平成27年第1回町議会臨時会は5月18日に開かれ、条例改正、補正予算、専決処分の承認など議案8件を審議。いずれも全会一致で原案どおり可決・承認し、閉会しました。

① 対象は平成27年4月1日から平成28年3月31日の間に新規取得した車で、平成28年度の軽自動車税に限り税額の25%〜75%を軽減します。

② 国が昨年に引き続き実施する「臨時福祉給付金」、「子育て世帯臨時特別給付金」に伴う一般会計の予算を補正しました。

条例の改正 都市計画税

地方税法の改正に伴い、必要な条項を整備、改正しました。

【主な改正点】
① ふるさと納税の税額控除申告が簡単に

戸籍電算化システムの購入

秋にスタートする戸籍電算化に必要なシステムを1998万円で購入します。

専決処分の承認

① 法律改正に伴い、税条例を改正（軽自動車税の税率引き上げ1年延

期など）した専決処分を承認しました。

② 排雪費用の追加、国の交付金事業に採択とならなかつた事業の財源調整を行う平成26年度一般会計補正予算の専決処分を承認しました。

臨時福祉給付金実施に伴う補正予算

平成27年度 補正予算の内訳

| | | | |
|-------|------------|--------|---|
| 一般会計① | 101億3622万円 | 1722万円 | 増 |
|-------|------------|--------|---|

※会計名の後の丸数字は補正回数

(1万円未満切り捨て)



どうなった？あの質問

過去に行われた一般質問がその後の町政にどう反映されたか、追跡・調査しました。

質問

統合保育所の名称どう決定するか
(平成25年12月定例会・旗手恵子議員)

丸山、広尾保育所を統合した新・保育所の名称はどのように決定するのか。



答弁

広く町民から公募する

「保育所」という言葉にこだわらず、親しまれる名称に。町民から公募し、関係者でつくる保育所統合建設委員会等の意見を聞き、選考したい。



公募案をもとに決定し、9月発表予定

7月13日から8月14日まで、町民からの一般公募を実施した。応募数40点の中から保育所統合建設委員会の意見を聞き、決定する。発表は9月を予定している。



遊具等の整備も進む新・保育所

質問

避難所の冬期間対策急ぐべきでは
(平成26年3月定例会・山谷照夫議員)

避難所の冬期間対策として非常電源や暖房設備の整備を急ぐべき。また、防災関係者による宿泊演習を実施する考えは。



答弁

計画的に整備していく

備蓄品や防災資機材は計画的に整備する。宿泊演習は今後、防災計画の中で訓練する計画を立てる。



計画的に整備、宿泊訓練は2月28日に実施

| | H26 | 備蓄量 (H26年度末) | H27 (予定) |
|-------------|-------|--------------|----------|
| 保存食 (アルファ米) | 1200食 | 3379食 | 1200食 |
| 飲料水 (500ml) | 2616本 | 4336本 | 2600本 |
| 毛布 | 203枚 | 1158枚 | 未定 |
| ポータブルストーブ | 5台 | 15台 | 未定 |
| 発電機 | 2台 | 3台 | 未定 |



青少年会館で行われた宿泊訓練



次のページは「一般質問」
「病院夜間救急・買い物弱者支援・高校存続」

ズバリ 町政を問う 一般質問

一般質問とは・・・

議員が定例議会で町長など執行機関の考え方について、報告や説明を求めたり、疑問をたずねることで、

広尾町議会では1回目は一括質問方式、2回目以降は一問一答方式となっています。

議会だよりでは、内容を要約して掲載しています。

6月定例会では、6人の議員が一般質問を行いました。



広尾サンタランドマスコットキャラクター「さーたちゃん」

●一般質問 項目一覧

| | | |
|--------|-----------------|-----|
| 志村國昭議員 | 夜間救急医療体制の充実を | P 8 |
| | 買い物弱者の支援と街並み整備は | P 9 |
| 北藤利通議員 | 高校存続どう取り組むか | P 9 |
| 山谷照夫議員 | 目立つ空き家 対策どうする | P10 |
| 小田雅二議員 | 受動喫煙防止に積極的な対応を | P10 |

| | | |
|--------|-----------------|-----|
| 小田雅二議員 | 移動手段がない高齢者 救う方を | P11 |
| 前崎 茂議員 | 商店のリフォームにも助成を | P11 |
| | 町立病院リハビリ科の充実を | P12 |
| 旗手恵子議員 | 核廃絶・平和のまちづくりを | P12 |
| | 国保税負担軽減策を | P13 |

質問 国保病院には、ここ一年間で164件の救急搬送があり、夜間搬送も多いと聞く。夜間は当直医が診察するが、症状によって非番の専門科医の診察を必要とする事態も発生する。専門外の当直医が独自の判断で本来執るべき適切な処置を怠った場合、生命に危険が及ぶ。重篤患者については、転院などの是非を迅速に判断することが重要で時間的な猶予がない。特に夜間救急患者の診察については、当直・非番に関わらず、症状に応じた専門科医が行う体制の充実を図るべき。



志村國昭 議員

答弁 村瀬町長 夜間宿直は、平日は常勤医、週末は他院の医師が行っており、専門外の患者で緊急を要するときには、当直外でも専門医が来て処置する体制になっている。脳や心臓などの疾患で緊急性があると医師が判断した場合は、二次救急当番病院の医師と連絡を取りながら搬送などの処置・対応をしているが、相手方との調整に苦慮することもある。今後とも医師間でしっかりと連携し、住民の不安

夜間救急医療体制の充実を

町長 医師間で連携し、不安のない体制に

をなくすような夜間救急医療体制をとっていきたいと考えている。



夜間搬送は相手先病院との調整が難しいことも

買い物弱者の支援と街並み整備は

町長 十勝バスの利用を

質問

本通りのスーパーが移転し、移動手段を持たない方々は日々の買い物に時間と体力を費やし、苦勞されている。沿道にベンチやパーゴラなどを設置することで小休止の場所と道すがら安らぎの空間が生まれ、散歩などを楽しまし方などにも広く利用していただける。少しの工夫で殺風景な景観も向上し、賑わいも期待できるので

は。

空き店舗の利用も選択に入れ、買い物弱者と言われる方の支援と併せた街並みの景観整備を進めることは、外出を楽しんでいただく環境づくりにもなると思うが。

答弁 村瀬町長

町内の各商店も商品の配達を行うなどの買い物支援を行っている。また市街地を巡回している十勝バスを買い物などにぜひ利用していただきたい。町広報紙に巡回経路、時刻表のチラシを折り込む



丸山通りに設置されているベンチ

町を歩いている人の休憩所が少ないという話は以前から出ており、ボランティアや個人の方がベンチ等を7か所設置している。お年寄りに街並みを歩いてもらうことで健康づくりやまちの活性化にもつながる。

本通りの空き店舗の利用は管理運営の面で厳しい状況もあるが、今後商工会・社会福祉団体とも協議していく。



きたふじ 北藤利通 議員

質問

新年度より通学費助成や希望する生徒への学校給食の提供を行うなど広尾高校の存続に向けた対策を講じてきたが、今年度の入学者数は38名と定員80名に対し半数を下回る状況になっている。

サンタのまち、新鮮な魚介類、サーファーが憧れる最高の波、そして広尾高校生の活躍等、広尾町の良さを全道・全国まで幅広く発信していくべきでは。また、遠方からの生徒を受け入れるための学生寮の整備が必要ではないか。

存続に向けて今後どのように取り組んでいくのか町長の考えを伺う。

高校存続

どう取り組むか

町長 存続要請や署名などを実施

答弁 村瀬町長

広尾高校の存続は町の最重要課題である。生徒減が続き、1学年1学級になると存続は厳しい。何としても2学級を維持する生徒数を確保する必要がある。

遠方から広尾高校に入学する生徒たちの受け入れ体制についても、今後協議会や学校と協議していきたい。

関係機関、団体でつくる存続対策協議会を中心に存続要請や署名活動を行うほか、高校のPR活動などを展開していく。

学力、スポーツなど子どもたちの希望・期待に添う高校となるよう、地域を挙げて取り組む。



伝統のあんどん行列は広尾町の一大行事に

次のページも「一般質問」
「空き家対策・受動喫煙・高齢化・商店リフォーム」



※パーゴラ

つたやふじなどのつる植物を絡ませるために作られた棚形あるいはトンネル形の建築物のことで、テラスやデッキなどの上や庭に設けるのが一般的。広くは、日よけや雨よけ効果のある休憩場所を言う。



やまや 山谷照夫 議員

目立つ空き家 対策どうする

町長 所有者の理解を得ながら進めたい

質問

今年2月から一部施行の「空き家対策特措法」が5月26日に全面施行された。空き家の現状は、人口減少等を背景に全国的に増加傾向が続いている。本町も近年、空き家、廃屋が多く見られるようになり、人口減少や高齢化に伴い今後は増える予想される。

管理不十分な空き家の倒壊等の恐れと景観や衛生上の問題もあり、早急に正確な空き家の戸数や状況を把握する実態調査の考えは。また、対策計画の策定、条例の制定、空き家バンクの開設等の方向性について伺う。

答弁 村瀬町長

適切に管理されていない空き家が防災、景観等で生活環境に影響を及ぼしている。平成24年度に町内会の協力で実態調査を行い、149戸の空き家を確認している。今後は現状を確認し、空き家情報の集約・整備



空き家・廃屋対策を推進

を進める。そのうえで倒壊等の危険性があるものには、撤去、修繕等の指導、勧告を行っていく。空き家対策を推進するために必要な対策計画を今後策定し、措置等を計画的に進める。条例制定は今後検討する。所有者の了解が得られれば、空き家バンクを開設し、空き家の有効的な活用につなげていく。



おだ 小田雅二 議員

質問

国民の死亡原因の一位は「がん」だが、都道府県別死亡率では青森に次いで北海道が二番目に高い。この理由は喫煙率の高さと健診の受診率の低さではないかとのこと。

健康増進法25条で官公庁施設はもちろん飲食店も含め、多数の者が利用する場所で他人のタバコの煙を吸わされる受動喫煙防止のために必要な措置を講じなければならぬとある。行政の積極的な指導が必要だが、各種施設はもちろん民間の食堂等も含め実態調査から積極的に進めていく必要があるのではないか。

受動喫煙防止に積極的な対応を

町長 禁煙、分煙の協力を呼びかける

答弁 村瀬町長

健康増進法の規定により、公共施設は全面禁煙としている。北海道が実施する「おいしい空気の施設」推進事業で登録されている広尾町の施設は官公庁3か所、薬局1か所で飲食店の登録はない状況である。

ひろお健康プラン21に基づき、町広報紙で受動喫煙のリスクについて周知したり、健康キャラバンでの講話などをやっている。今後も受動喫煙を防止するため、たばこを吸



タバコの害は周りの人にも影響が

移動手段がない高齢者 救う方策を

町長 政策的課題として取り組む

質問

超高齢化社会での問題、例えば交通死亡事故の26%が高齢者の当事者、地域での食品スーパー減少による高齢者の買い物難民化、空き家の増加など今後新たに多様な問題が出てくると思う。

また、身寄りのない高齢者が専門的な医療を受けるため、帯広へ行かなければならない場合などは、大樹町の「ひなたぼっこ」のような介護つきの交通手段のサービスが必要だ。

町として、これらのサービスなどにも検討を加えていく必要があるのではと思うが。

答弁 村瀬町長

本町の65歳以上の高齢化率は3月末現在で33.9%と年々増加している。第6期介護保険事業計画が今年度からスタートした。高齢者が何を求めているのか、アンケート等で把握しながら対策を進めていきたい。

帯広までの移動が困難な高齢者については、介護認定されている方は大樹町の事業者にお問い合わせしているが、まだまだ台数も少ない状況。広尾町で今後同様の事業ができる業者が現れるかも含め、高齢者の移動手段確保は政策的な課題でもあるので、取り組んでいきたいと考えている。

介護つき交通手段サービス

大樹町の事業所「ひなたぼっこ」では、介護サービス利用者（ケアマネが必要と認められた方）及び障がいサービス利用者（町村が必要と認められた方）に有料で町外の病院まで送迎を行っている。広尾町社会福祉協議会でも介護度3、4、5の人が利用できる「町内での買い物や病院の通院等の送迎」を行っているが、町外への送迎は行っていない。



質問

広尾町では住宅リフォーム助成事業を、平成25年度から実施し、2年間の件数は、124件を町内建設業者が施行している。

高崎市や新潟市、また道内では、訓子府町や美幌町でさらに「店舗リフォーム促進支援事業」を実施している。消費税増税等で売り上げが減少し、店舗の改修等を考えている商店経営者を応援する観点から、本町でも商店リフォーム助成事業の創設を検討すべきでは。



まえざき 前崎 茂 議員

答弁 村瀬町長

住宅リフォーム助成制度は、町民の居住環境の向上を目的として創設されたものであり、店舗、事務所、会社など居住用ではない建物のリフォームは除外されている。

中小企業者については、中小企業融資制度により保証料や利子の補給を行って、設備資金として店舗の改修などにも利用されている。

広尾町は全道トップレベルの商業振興策を実施しており、既存制度も活用できることから、商店等の店舗のリフォームに対する助成制度の創設は難しい。

商店のリフォームにも助成を

町長 制度創設は難しい

平成27年度も住宅リフォーム助成事業を実施しています。
(10月30日まで受付)

住宅リフォーム助成事業の利用実績

| | 平成25年度 | 平成26年度 |
|------|--------------|------------|
| 助成件数 | 73件 | 51件 |
| 助成額 | 637万4000円 | 442万6000円 |
| 総工事費 | 1億1691万1460円 | 7776万9846円 |



次のページも「一般質問」
「病院経営・核兵器廃絶・国民健康保険・議会モニター」

町立病院リハビリ科の充実を

町長 理学療法士を配置したい

質問

①現在 町立病

院と総合病院との連携強化や北斗病院との「脳卒中ホットライン」を運用し、搬送時間短縮をしている。

砂川市立病院と奈井江町立病院は医療連携協定をしており、患者情報の共有化により、患者の救急、急変にも対応している。

これらの先進事例を参考にしている。

②運動機能低下によるリハビリは、高齢化に伴い患者数は増加傾向にあり、住民ニーズも高い。理学療法士等の配置をすべきでは。

答弁

村瀬町長

国保病院は、十勝メディカルネットワークに参加し、帯広市の6病院の薬の処方、検査結果、レントゲン等の画像情報を患



リハビリ患者は増加傾向に

者本人の同意の上で共有できる。現在は6つの病院から国保病院に転院された患者の情報を補充するものとして活用している。今後、十勝メディカルネットワークを活用、発展させ、少しでも先進地の事例に近づきたい。リハビリの住民ニーズはあると考える。柔道整復師が来年3月に定年退職するので、来年度に理学療法士を配置するよう進める。



旗手恵子 議員

質問

2008年9月 議会での一般質問

で、広告塔の設置を質し、「設置を検討する」と答弁があり、その後も一般質問等で何度も取り上げているが、未設置。検討の結果はどうか。

懸垂幕は一時的なもので、今は外されている。恒常的な広告塔の設置が必要では。

広島、長崎の被爆から70年。大樹町や中札内村では、記念事業として広島平和記念式典等への町(村)民派遣を計画している。本町での取り組みの具体化を。

核廃絶・平和の

まちづくりを

町長 平和事業を継続して取り組む

答弁 村瀬町長

広尾町は平成7年12月14日に「核兵器廃絶・平和の町」を宣言している。

看板、広告は他の団体のものを利用し設置しているが、それが撤

去された後は掲げていない状況。新たな広告塔、看板の設置は引き続き検討していく。

平和事業の取り組みとして、平成7年の宣言以来、核兵器の悲惨さを伝えるパネル展を毎年8月に開催している。また、コミセンの横壁に核兵器廃絶・平

和の町宣言の懸垂幕も掲げている。今後も平和を願う事業を継続的に進めていく。



毎年8月に原爆パネル展を開催

国保税負担軽減策を

町長 医療費抑制のため、予防対策を実施

医療費一部負担金の減免制度を
ご存知ですか？

病状や実情に応じて一部負担金を支払いが困難な場合、一部負担金の減免、免除が受け取れる場合があります。

こんなときに……

- 干ばつ、冷害、凍害等による農作物の不作・不調により収入が著しく減少した
- 震災・火災等により住居が壊滅、または被害を受けた、もしくは同様に重大な損害を受けた
- 突発的疾患・失業により収入が著しく減少した

減免の期間
減免・免除の手続きは各月域内の機関へ行ってください。

法定までに申請がなされる場合がありますので、お早めにご相談ください。

問い合わせ先：保健課まで（TEL：2-0171）

質問 医療保険制度改革、成立した。国保の財政管理を都道府県に移行することにより、高すぎる国保税がさらに高騰する危険性が浮き彫りになった。

最終的に国保税を決めるのは市町村。軽減策は引き続き必要と思うかどうか。

経済的な理由で病院にかかれない人には、一部負担の減免制度を知らせる手立てをとるべきではないか。若小牧市では、お知らせポスターで周知している。

答弁 村瀬町長

広尾町は平成12年の改正から税率を上げていない。医療費は管内で上位国保税は安いという状況の中、住民の生活を守るために努力してきた。

今後の対策として、国に負担を求めていくのと同時に、地域で医療費がかからないよう予防対策をしつかり講じていく。

一部負担金の減免制度については、そういう制度があることを国保だよりや町広報紙などで住民にお知らせしていく。

議会モニター制度始まる

広尾町議会では、議会改革の一環として今年度から議会・議員の活動や議会運営などについてご意見をいただく「議会モニター」制度を始めました。

第2回定例会初日の開会前に、渡辺富久馬議長から議会モニター6人のうち、この日出席された3人へ委嘱状を手渡しました。

渡辺議長は「まちづくり同様、議会運営に若い人の意見を取り入れていきたい。固く考えず、率直な意見をお寄せいただければ。」と話し、モニターの皆さんはさっそくこの後に開かれた定例会を傍聴しました。

〈議会モニター〉 ※任期：平成29年5月末までの2年間

- ・柴田 憲夫さん（公園通北2）・下森 孝俊さん（丸山通南7）
- ・石原由紀江さん（西1-11）・會川 英二さん（丸山通南2）
- ・大庭ひとみさん（トヨイベツ）・菊地 亜希さん（野塚11線）



議会を傍聴しました

6 / 9 10丁目町内会女性部



10丁目町内会女性部（道端千昌部長）20人が、6月定例会2日目に行われた一般質問を傍聴に訪れました。当初の予定時間を超えて傍聴される方もおり、町政への関心の高さを伺うことができました。

祝田静子さん（東1-10）



今回で議会の傍聴は2回目です。私たちが選んだ議員さんが真剣に町のことを考えて質問し、議論している様子を実際に見ることができて、とても良かったです。

考えた!



総務常任委員会

委員長 山谷照夫 副委員長 北藤利通

調査日 平成27年5月20日

老人ホーム・特養の 管理運営の現状は

ボランティアを活用し、生活を支援

機能回復訓練等を実施

養護老人ホーム「かもめ」開設は昭和39年。施設の老朽化に伴い、平成11年に現在の施設に移転改築された。全室個室対応とし、特養との共用で100名の入所者が同時に利用できる食堂兼多目的ホールを備えている。近年は介護サービスを受け入所者が増えており、個々の状態を踏まえたきめ細かな生活支援を行っている。今年度はアロマセラピーや音楽レクリエーション、軽運動による機能回復訓練等を実施する予定。また、**※介護予防ボランティアポイント制事業**を受け入れることで有効な生活支援につなげたいと考えている。

の現状 所管事務調査

また、年間行事については、季節ごとの行事のほかにボランティアグループ等による様々な慰問が行われている。

「看取り介護」を導入

特別養護老人ホーム「つつじ苑」昭和56年に開設。平成6年から短期入所（ショートステイ・定員10名）も併設している。入所者の介護度の重度化が進んでおり、平成26年度からは重篤な症状を持った方がホスピスのように静かに過ごせるよう「看取り介護」を開始している。また平成27年度からは、養護老人ホームと同様にアロマセラピーや音楽レクリエーション、軽運動

入所者の状況等

平成27年4月1日現在

| | 老人ホーム | 特別養護老人ホーム |
|------------------|------------------|------------------|
| 入所者数 | 49人 (男12、女37) | 49人 (男13、女36) |
| 平均年齢 | 84.55歳 | 85.78歳 |
| 平均介護度 (要支援除く) | 2.5 | 4.43 |
| 待機者数 | 45人 | 49人 |
| 職員数 | 24人 (うち臨時16) | 42人 (うち臨時25) |

による機能回復訓練を実施している。

問 臨時職員の正職員化と待遇改善を図るべき。

答 正職員の退職状況も考慮し、公募による採用に努めていく。また、有資格の臨時職員への手当支給を今後検討する。

問 ボランティアポイント受け入れ事業所になった効果、今後の見通しは。

答 入所者にとっても多くの人と交流できる。ポイント制の導入により、ボランティアの人数は大幅に増えると見込んでいます。

豊似小・中学校施設の耐震性

| 施設 | 耐震診断 | 耐力度調査 | | |
|-------|------|-------|------------|-------------|
| 豊似小学校 | 校舎 | 基準未滿 | 6区画中3区画で不足 | 耐震改修は困難 |
| | 体育館 | 基準未滿 | 実施していない | 耐震改修し、基準上回る |
| 豊似中学校 | 校舎 | 基準未滿 | 8区画中5区画で不足 | 耐震改修は困難 |
| | 体育館 | 基準未滿 | 2区画とも不足 | 耐震改修後も基準下回る |

施設の耐震性は不足

豊似小・中学校の 今後の方向性は

耐震状況、減少する
児童・生徒数の現状を調査



※介護予防ボランティアポイント制事業

平成27年度からスタートした事業。町内7か所の老人介護施設等で決められたボランティア活動を行うとポイントがもらえ、1年間のポイントに応じて最大5000円の商品券と交換できる。ただし、活動するにはボランティア養成講座を受講する必要がある。

産業常任委員会

委員長 田中 巧 副委員長 浜頭 勝

調査日 平成27年5月28日

バイオマス発電 施設の現状は

現地視察も実施

見た！
聞いた！



ひろお

常任委員会

人数減で複式学級に

町内各小・中学校児童生徒数、豊似小・中学校の学年別児童生徒数の推移について説明を受けた。豊似小学校は平成34年度以降複式3学級となる可能性があり、豊似中学校も平成36年度以降複式学級となる可能性がある。複式学級になると中学校では教頭・養護教諭・事務職員の配置がなく、

(株)アルムシステム清信畜産育成牧場バイオガスプラント発電所(字紋別20線)の現地視察を行った。

事業運営者

(株)アルムシステム清信畜産育成牧場

事業の目的等

バイオガスプラントの発電及び熱利用並びに液肥の肥料使用などを通じての地域循環型農業を目的とする。
バイオマス(家畜ふん尿)をバイオガスプラント

学習や集団活動、学校行事などの観点から様々な



豊似小・中学校の今後のあり方は

トにおいて発酵させ、メタンガスを製造・収集し発電を行っており、発電によって得られた電気は、北海道電力に売電している。また、発酵後の残渣である消化液については、有機肥料として農地に利用している。

事業開始までの経緯

①平成25年8月 農林水産省に事業実施計画(補助金申請含む)申請書を提出
②平成25年9月 事業承認、補助金の交付決定

問題を抱えることとなる。

地域と十分協議して判断

今まで保護者等へのアンケートや話し合いを行ってきたが、教育委員会としては、方向性についてまだ結論を出していない。今後も地域の声を十分に聞きながら判断していきたいと考えている。

もつ少し早い段階で建て替え等の判断をすべきだったのではないかと

耐震性がないことは明らかで改築は絶対必要。ただ中学校の今後のあり方を踏まえて存続、小中の合築で建てるか等の検討を行っている。

方向性はいつ頃までに判断するのか。

統合、存続の判断は7月末までに結論を出していきたい。

なお、年間の売電額は、約3000万円を見込んでいる。※1kwhあたり39円(税抜)

設備投資金額

④平成27年1月22日 北海道電力に売電開始
2億9000万円(うち補助金8600万円)

発電実績等

1月～3月までの実績は売電量81949kwh、売電金額345万1000円。



バイオマス発電施設を視察

次のページは「議会日誌・ざかいトピックス」

議会活動日誌

平成27年6月～平成27年8月

【6月】

- 2日 南十勝複合事務組合議会臨時会（大樹町）
帯広市議会正副議長来庁
- 3日 第4回議会運営委員会
- 4日 十勝圏活性化推進期成会定期総会（帯広市）
- 6日 自民党北海道第11選挙区支部「定期大会」
- 8日 第2回町議会定例会（～10日）
第1回議員協議会
- 10日 自衛隊協力会総会
- 15日 紋別町内会春まつり
- 17日 北海道町村議会議長会定期総会（～18日・札幌市）
- 22日 とかち広域消防事務組合議会議員協議会（帯広市）
- 24日 広尾高校存続対策協議会
- 25日 高規格道路整備にかかる中央要望（～27日・東京都）
- 29日 十勝圏複合事務組合議会臨時会（帯広市）
十勝環境複合事務組合議会臨時会（帯広市）
とかち広域消防事務組合議会臨時会（帯広市）

【7月】

- 2日 十勝港まつり協賛会代表者並びに執行者会議
- 6日 広尾高校存続にかかる要請活動（帯広市）
- 7日 北海道町村議会議長会議員研修会（～8日・札幌市）
- 8日 広尾警察署音調津駐在所の早期移転・改築に関する要請活動（札幌市）
- 9日 広尾町殉公者追悼式
- 12日 横山信一参議院議員来庁
- 20日 十勝管内P T A研究大会広尾大会
自民党北海道第11選挙区支部「地域政策懇談会」
- 21日 町村議会新任議員研修会（～22日・札幌市）
- 22日 南十勝消防防災合同実践訓練（更別村）
- 25日 広尾町農村運動会
- 28日 広尾地区暴力追放運動推進協議会

【8月】

- 3日 海上自衛隊護衛艦「ちくま」入港歓迎式・艦上昼食会・入港歓迎パーティー
- 6日 高規格道路整備にかかる中央要望（～7日・東京都）
- 7日 無縁仏供養祭
魚霊祭
- 11日 第3回議会広報特別委員会
- 15日 町民仮装盆踊り大会
- 18日 南十勝複合事務組合議会定例会（大樹町）
- 19日 第3回産業常任委員会
- 21日 十勝町村議会議長研修会（足寄町）
- 24日 第4回総務常任委員会
さけます神社秋季祭典
- 27日 芽室町・広尾町議会議員交流会
- 28日 帆船「日本丸」十勝港入港歓迎式
- 29日 帆船「日本丸」十勝港入港歓迎パーティー
- 31日 とかち広域消防事務組合議会定例会（帯広市）

閉会中の所管事務調査

各常任委員会と議会運営委員会は、平成27年第3回定例会までの閉会中に、次の所管事務調査を実施します。

◇総務常任委員会

- ①南十勝環境衛生センターの現状と課題について

◇産業常任委員会

- ①広尾漁協冷凍・冷蔵施設等の現状と課題について

◇議会運営委員会

- ①議会の運営に関する事項について
- ②議会の会議規則、委員会条例等に関する事項について
- ③議長の諮問に関する事項について

ぎがイトピックス

7 / 8 音調津駐在所の早期移転・改築を要望

音調津駐在所は海岸地域住民の安全・安心を守る重要な役割を果たしていますが、築31年で老朽化が著しく、津波の浸水区域にあるため、町は北海道警察本部へ移転・改築を求める要請を行いました。

町議会からも渡辺富久馬議長、山谷照夫総務常任委員長が参加し、地域の実情を訴え、早期に実施されるよう要望しました。



8 / 15 町民盆踊り大会に参加

広尾町議会議員会（旗手恵子会長）では、平成24年から毎年お盆に開かれる「町民盆踊り大会」に参加しています。今年も議員8人と事務局3人が揃いの浴衣に身を包み、広尾の夏を彩るイベントを一緒に盛り上げました。

